

国連アカデミック・インパクト  
平成 23(2011)年度活動記録

文教大学は、国連アカデミック・インパクト・イニシアチブで示された原則 3「性別、人種、宗教、民族を問わず、全ての人に教育の機会を提供する」を全学的に取り組み、次の原則について順次取り組んでいます。

国際学部国際ボランティア委員会が主催する活動地域(コソボ、ヘルツェゴビナ、ウガンダ、米国)及び本学と連携する NGO が活動する地域において、原則 6「人々の国際市民としての意識を高める」、原則 10「異文化間の対話や相互理解を促進し、不寛容を取り除く」活動に、毎年取り組んでいます。これらの活動を通じて、学生のボランティア活動の意義・目的・実施方法・問題とその解決方法・活動評価を学ぶ機会を提供し、将来国際ボランティア活動のイニシアチブを取る人材育成に取り組んでいます。

例年、活動地域の中心は国外ですが、2011 年度は東日本大震災被災地域を重点活動地域とし、下記の通り活動しました。

<b>テーマ</b>	東日本大震災被災者支援活動
<b>参加学生総数</b>	150 人
<b>活動日数</b>	延べ 600 日
<b>活動内容</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・被災地自治体並びに被災者支援現地活動を行うNGO協力のための街頭募金活動 11 月 1 日現在 参加学生 150 人、総日数 16 日 (3 月 5 日間、4 月 3 日間、5 月 3 日間、7 月 2 日間、8 月 2 日間、9 月 2 日間、10 月 20 日間)</li><li>・東北被災地用緊急支援物資の収集、整理、発送のための自治体支援 (対象自治体・相模原市、茅ヶ崎市)</li><li>・被災地泥出し用土嚢袋収集(周辺自治体から 1800 袋)</li><li>・被災地現地支援活動: 現地活動参加学生総数 120 人、延べ 480 日 (学校・民家での泥出し、浸水家具整理、漁具回収、雄勝・硯石回収、仮設住宅被災者足湯、中学生学習指導、被災者対話等)</li></ul>